

平成 29(2017)年版

呉市の男女共同参画に関する 年次報告

ダイジェスト版

呉市

男女共同参画社会の実現を目指して

少子高齢化の急速な進展や人口減社会の到来，経済環境の変化により，社会は大きな転換期を迎えています。これからの時代を豊かで活力ある確かなものとしていくためには，様々な社会的基盤や資源を活用するとともに，その質的向上に向けた取組が不可欠です。

このような状況下で，男女が互いの人権を尊重しあい，一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は，21世紀のわが国の最重要課題とされています。

呉市では，平成13年12月に，「くれ男女共同参画推進条例」を制定し，市民や事業者と協働しながら，積極的に施策を推進しています。

本書は，条例に基づく年次報告書として作成したものであり，呉市における男女共同参画の現状，平成28年度に本市が取り組んだ施策の実施状況などを掲載しています。

本書を，一人でも多くの方にご覧いただき，男女共同参画社会の実現に向けての理解と関心を深めるよい契機として，広く活用していただきたいと願っております。

平成29年12月

呉市市民部人権センター

● 目次 ●

I 「くれ男女共同参画基本計画（第3次）」の体系	1
II 呉市の男女共同参画の現状	2
1 呉市の基礎データ	
2 <目標Ⅰ> 男女がともに，男女共同参画についての意識づくりを進めましょう。	
3 <目標Ⅱ> 男女がともに，積極的に社会活動や意思決定過程に参画しましょう。	
4 <目標Ⅲ> 男女がともに，仕事と生活をバランスよく送れる環境をつくりましょう。	
5 <目標Ⅳ> 男女がともに人権を尊重し，安心して暮らせる環境をつくりましょう。	
III 呉市の男女共同参画施策の実施状況（平成28年度の主な取組）	7
IV 「くれ男女共同参画基本計画（第3次）」の指標と現況値・目標値	11

*グラフ・統計資料は，特に注釈のない限り，本市のデータを示しています。

*グラフ・統計資料の数字は，平成15年4月1日に下蒲刈町，平成16年4月1日に川尻町，平成17年3月20日に音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町と合併をしたため，原則として基準期日が合併日以前のものについては旧町分は含まれず，合併日以降のものについては含まれています。

*グラフ中の割合(%)は，小数点第2位を四捨五入して算出しているため，合計が100%を上回る場合があります。

I 「くれ男女共同参画基本計画（第3次）」の体系

目標Ⅰ 男女がともに、男女共同参画についての意識づくりを進めましょう。

方針1

男女共同参画の推進に向けた広報・意識啓発を推進します。

施策1 広報・意識啓発の推進

施策2 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し

方針2

男女共同参画の視点に立った教育・学習による人づくりを進めます。

施策1 家庭教育における男女共同参画の促進

施策2 保育所・幼稚園・学校における男女平等に関する教育の促進

施策3 社会教育における男女共同参画の促進

方針3

男性にとっての男女共同参画を促進します。

施策1 男性にとっての男女共同参画の意識啓発と相談機能の充実

目標Ⅱ 男女がともに、積極的に社会活動や意思決定過程に参画しましょう。

方針1

政策・方針の立案、決定過程への女性の参画を拡大します。

施策1 市の政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

施策2 企業・各種団体等の方針決定過程への女性の参画促進

施策3 女性のエンパワーメントの支援と人材情報の提供

方針2

社会・地域活動への男女共同参画を促進します。

施策1 まちづくりや防災・災害復興・環境の分野における男女共同参画の促進

目標Ⅲ 男女がともに、仕事と生活をバランスよく送れる環境をつくりましょう。

方針1

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」を推進します。

施策1 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の広報・啓発の推進

施策2 子育てや介護に対する支援

施策3 男性のための両立支援

方針2

男女がいいきと働くことができる職場づくりを支援します。

施策1 雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

施策2 多様な働き方を可能にする環境整備

施策3 女性のチャレンジ支援

目標Ⅳ 男女がともに人権を尊重し、安心して暮らせる環境をつくりましょう。

方針1

男女の人権が尊重されるように取組を進めます。

施策1 男女間におけるあらゆる暴力の防止

施策2 ドメスティック・バイオレンスの防止対策の推進

—— 呉市 DV 防止基本計画

施策3 メディアにおける男女の人権の尊重

方針2

健康で安定した暮らしを支援します。

施策1 生涯を通じた健康づくり支援

施策2 互いの性の理解と尊重

施策3 社会的な援助を必要とする男女への支援

施策4 国際理解を深め、外国人が暮らしやすい環境整備

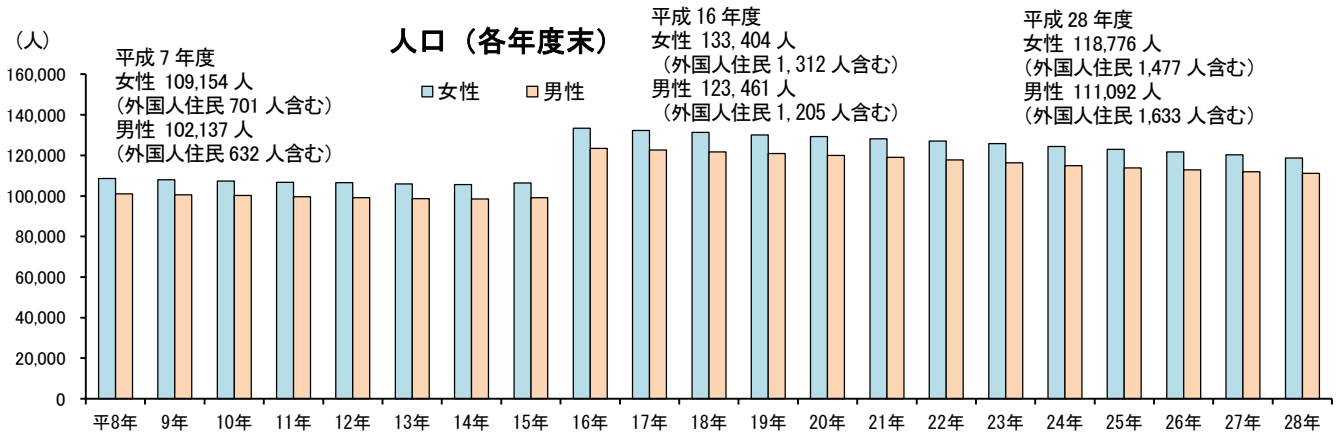
II 呉市の男女共同参画の現状

1 呉市の基礎データ

(1) 呉市の人口

①人口

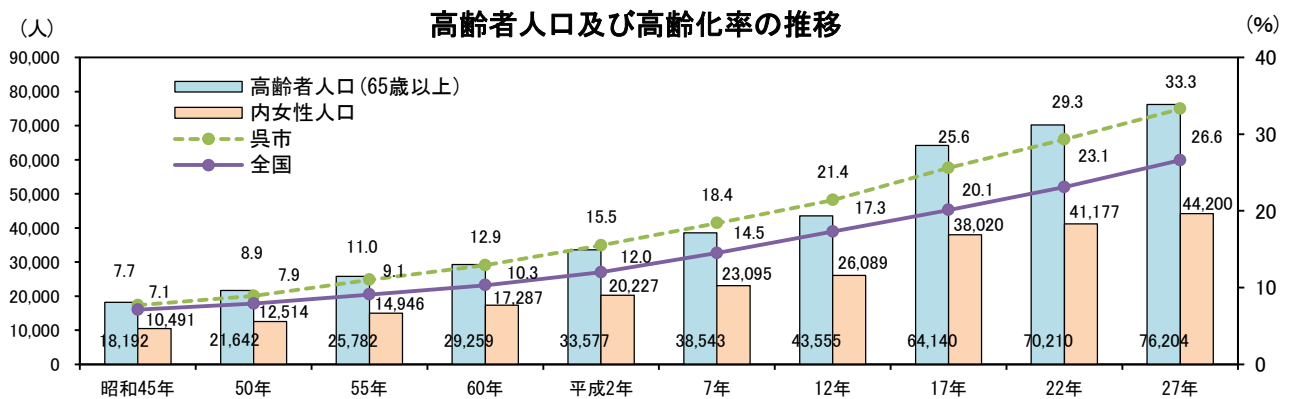
呉市は、平成15年度に近隣1町と、平成16年度に近隣7町と合併し、その人口は平成16年度末に256,865人（うち外国人住民2,517人）に増加しましたが、28年度末には229,868人（うち外国人住民3,110人）まで減少しています。また、男女比では、女性の方が7,684人多くなっています。



《資料：住民基本台帳、外国人登録法に基づく登録人口（23年まで）》

②高齢者人口及び高齢化率の推移

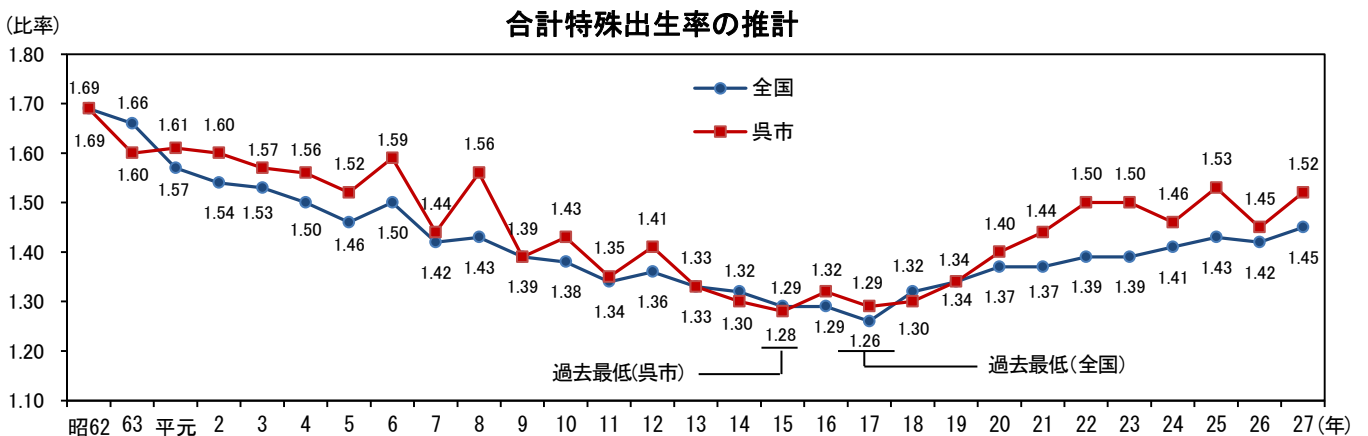
呉市の65歳以上の高齢者人口は年々増加し、平成27年には、人口に占める高齢者の割合（高齢化率）は33.3%となり、全国平均と比べ6.7%高くなっています。また、平成27年の高齢者人口では58.0%が女性となっています。



《資料：国勢調査（総務省統計局）》

③合計特殊出生率の推移

呉市の合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子どもの数の平均値）は、人口を維持するために必要とされている2.07を大幅に下回る状況が続いています。

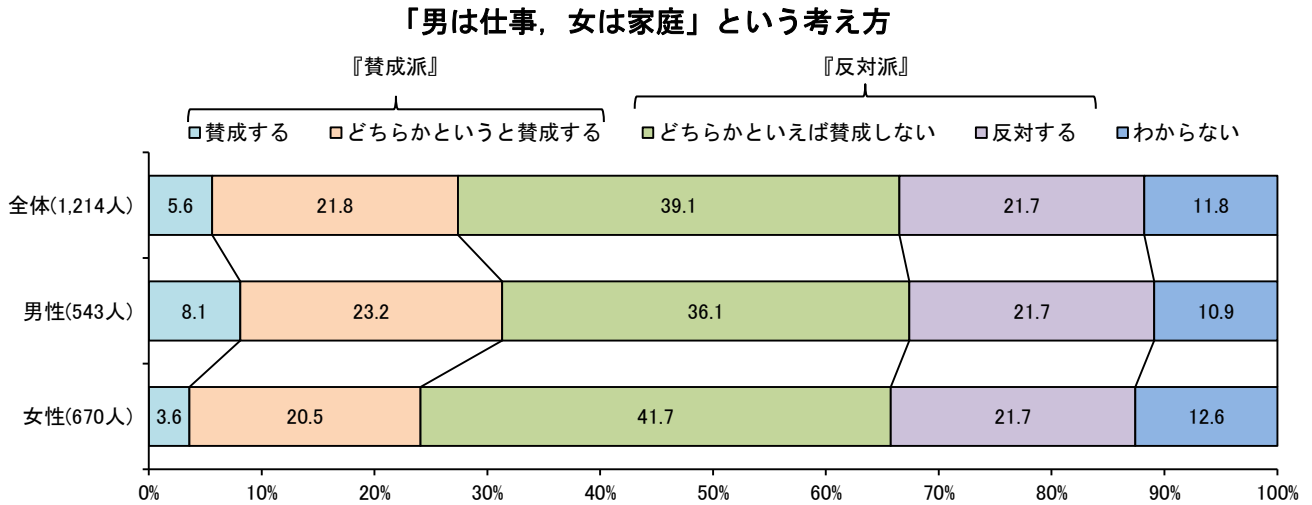


《資料：人口動態統計（厚生労働省）、呉市調べ》

2 <目標 I>男女がともに、男女共同参画についての意識づくりを進めましょう。

(1) 固定的性別役割分担意識

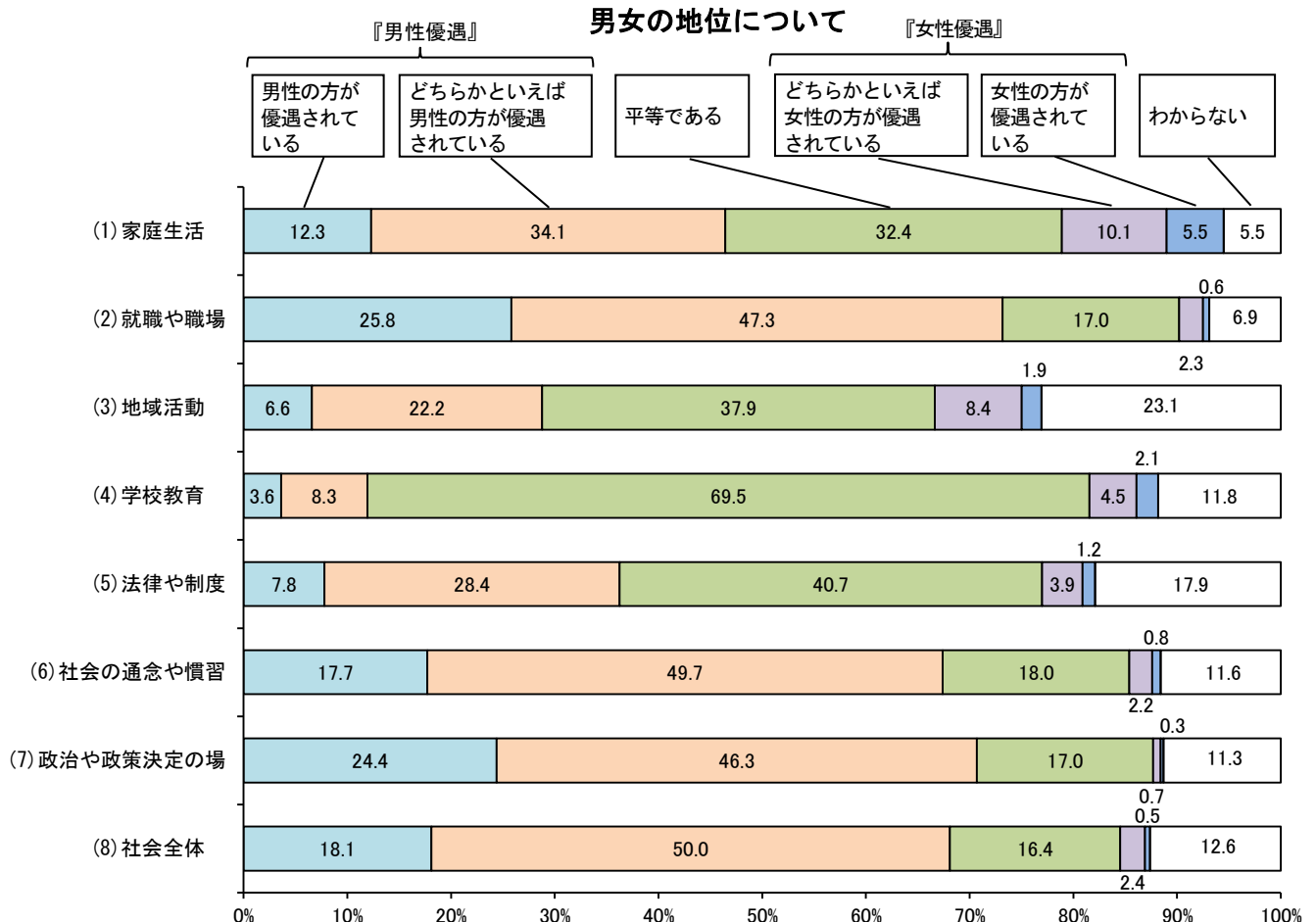
「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」を合わせた『賛成派』は27.4%、「反対する」と「どちらかといえば賛成しない」を合わせた『反対派』は60.8%で、『反対派』が『賛成派』を大きく上回っています。



《資料：男女共同参画市民アンケート調査（平成28年 呉市）》

(2) さまざまな分野における男女の地位について

男女の地位が平等になっていると思うかを8つの分野についてみると、「就職や職場」「社会の通念や慣習」「政治や政策決定の場」「社会全体」の分野において、『男性優遇』と回答した人は、6割を超えています。一方、「平等」と感じている分野は、「学校教育」が69.5%と最も高く、次いで「法律や制度」で40.7%、「地域活動」で37.9%と、すべての分野において、前回調査（H23）より増加しています。



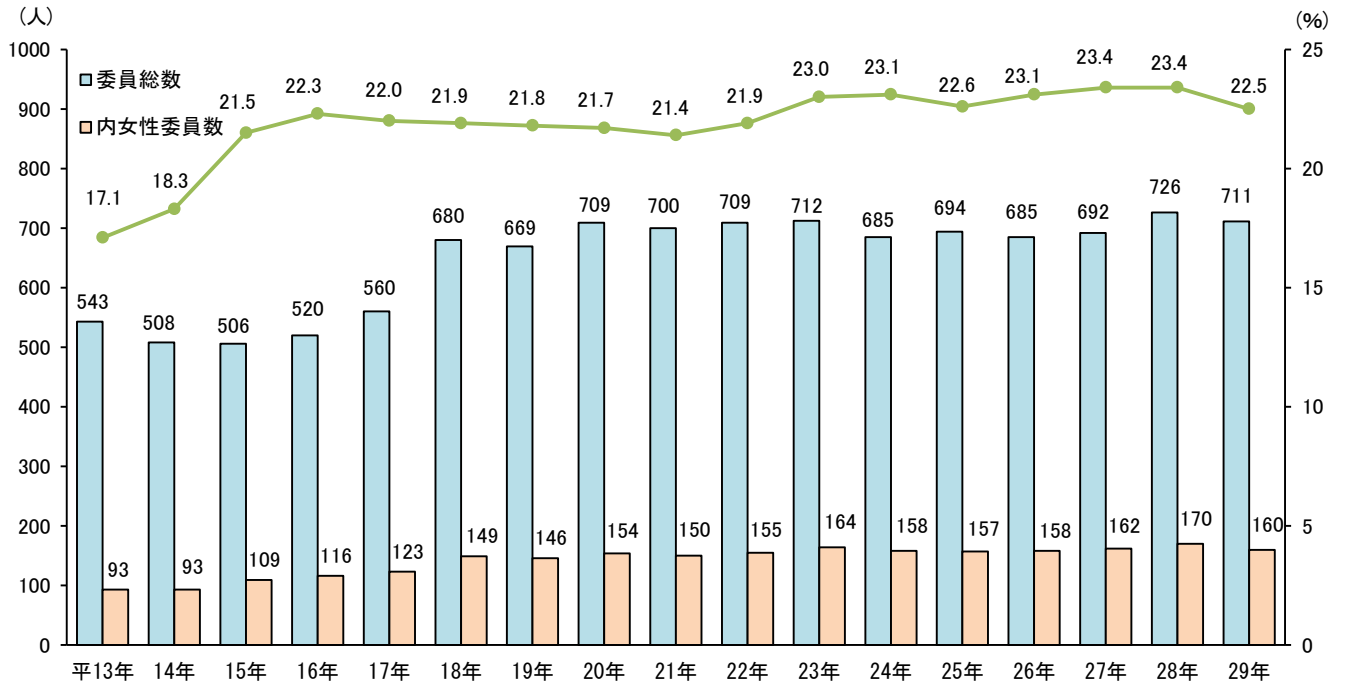
《資料：男女共同参画市民アンケート調査（平成28年 呉市）》

3 <目標Ⅱ>男女がともに、積極的に社会活動や意思決定過程に参画しましょう。

(1) 審議会等における女性の参画状況

呉市の審議会等委員に占める女性の割合は、平成15年以降20%をやや上回る割合で推移しており、平成29年4月1日現在では22.5%となっています。

審議会等委員に占める女性委員数と割合の推移（各年4月1日）

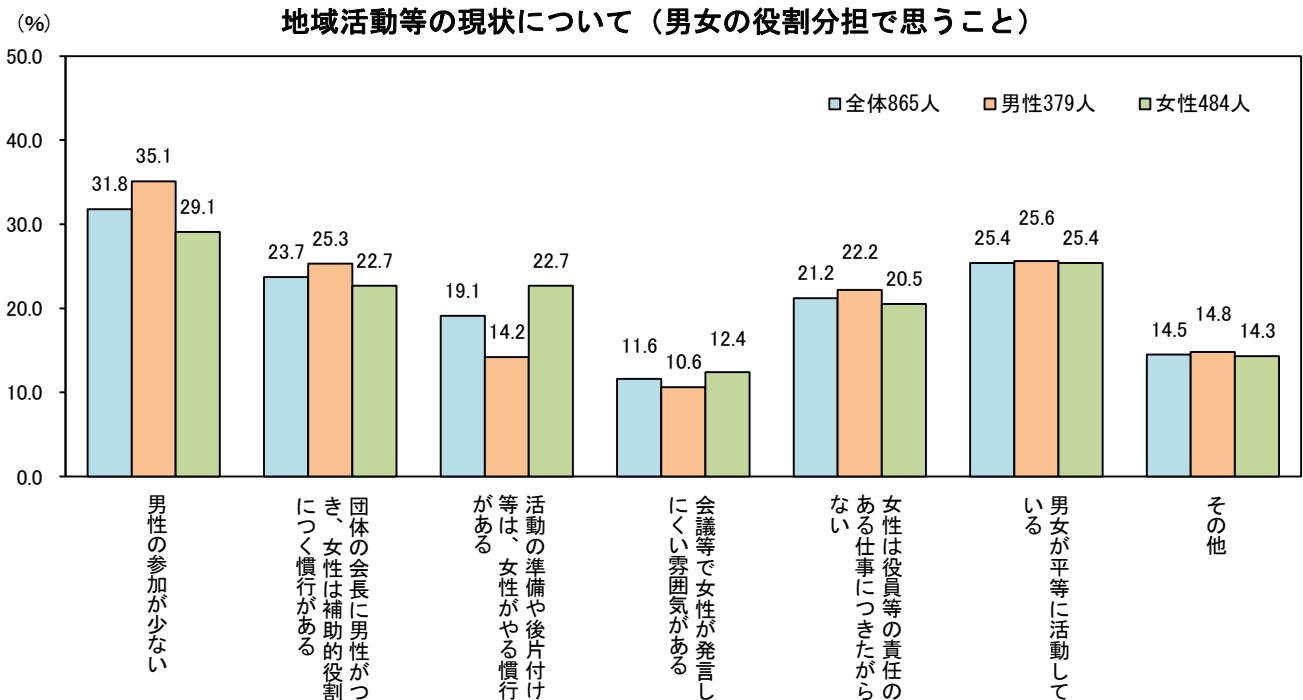


《資料：呉市調べ》

(2) 地域活動における男女の役割分担など

地域活動等の現状については、全体では「男性の参加が少ない」が31.8%、「男女が平等に活動している」が25.4%の順となっています。また、男性と女性では、「活動の準備や後片づけ等は、女性がやる慣行がある」、「男性の参加が少ない」の順で、感じていることに差がでています。

地域活動等の現状について（男女の役割分担で思うこと）

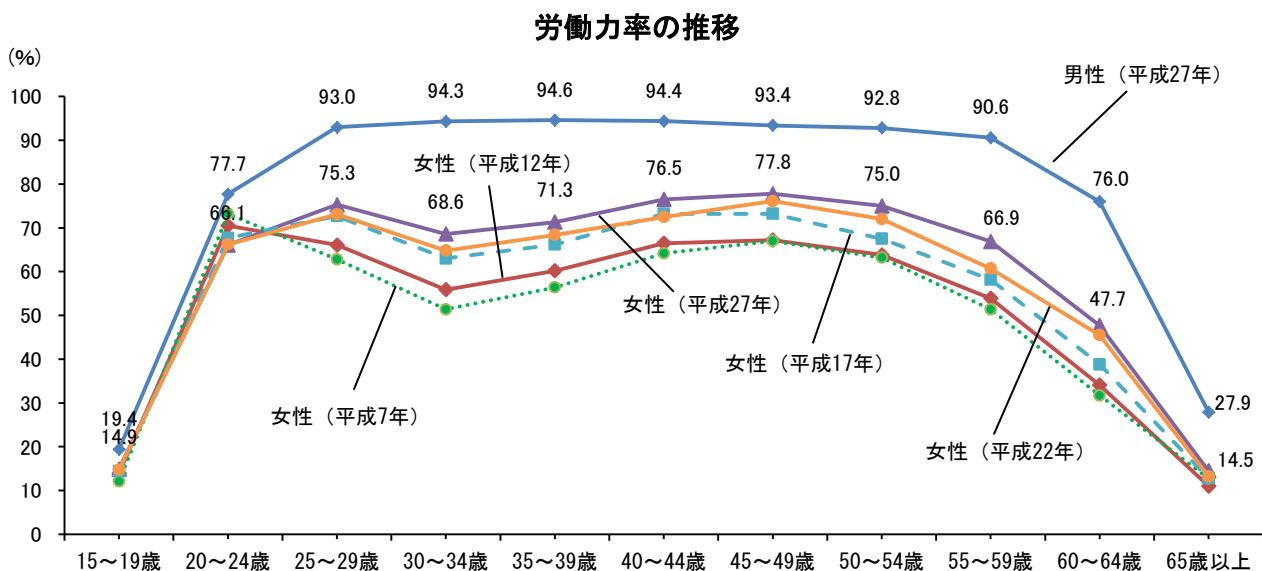


《資料：男女共同参画市民アンケート調査（平成28年 呉市）》

4 <目標Ⅲ>男女がともに、仕事と生活をバランスよく送れる環境をつくりましょう。

(1) M字型を示す女性の労働力率^{※1}

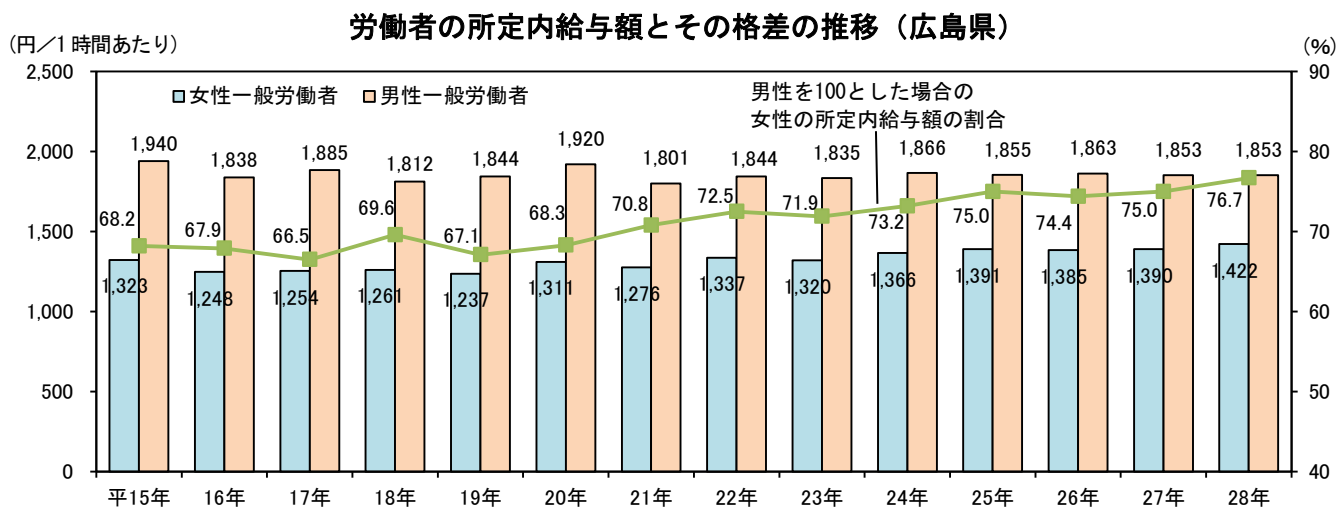
年齢5歳階級別に呉市の労働力率をみると、男性は25～59歳までの各年齢階級で90%以上と高く台形を描いています。それに対して、女性は25～29歳と45～49歳を頂点とし、30～34歳を谷とするM字カーブを描いていますが、30～34歳の労働力率は年々上昇しています。さらには、45歳以上の女性の労働力率も年々上向き、M字カーブの頂点が右へシフトしてきました。



《資料：国勢調査（総務省統計局）》

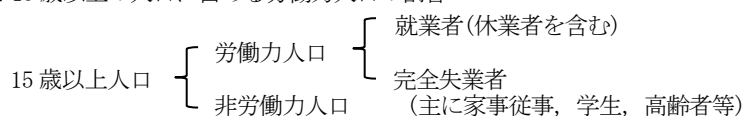
(2) 男女の賃金

平成28年の女性一般労働者^{※2}の1時間あたりの所定内給与額^{※3}は1,422円で、男性一般労働者の1,853円の76.7%にあたり、平成21年以降は7割を超えています。男女間の差には依然として開きがあります。



《資料：賃金構造基本統計調査（厚生労働省）》

※1 労働力率：15歳以上の人口に占める労働力人口の割合



※2 一般労働者：短時間労働者以外の労働者をいう。

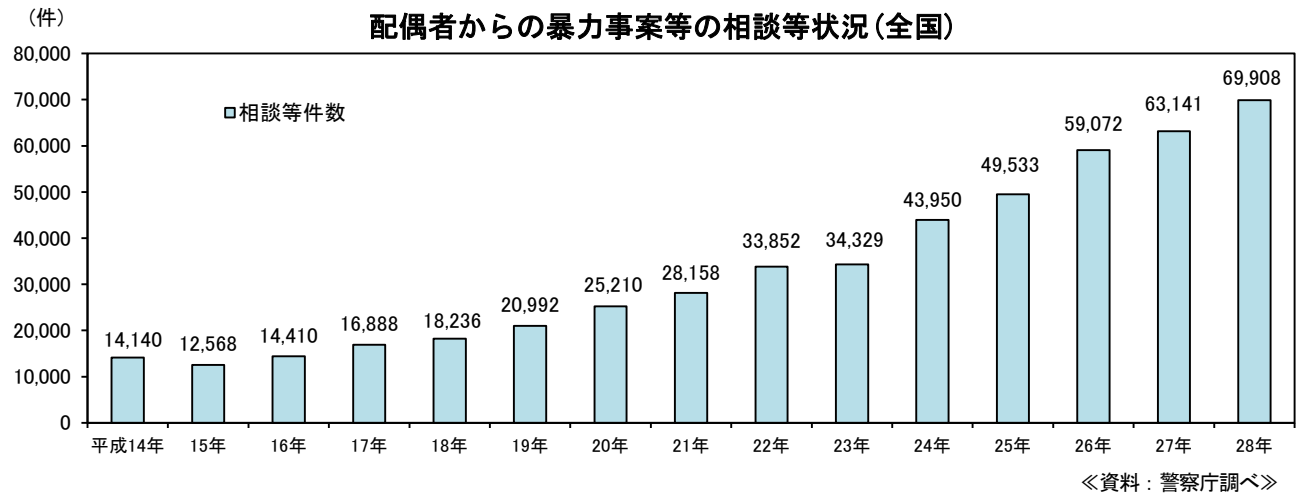
※3 所定内給与額：労働契約等で定められている現金給与額のうち、超過労働給与額を差し引いた額をいう。

各年6月分として支給された所定内給与額を、同月の所定内労働時間数で除して1時間あたりの額を算出している。

5 <目標Ⅳ>男女がともに人権を尊重し、安心して暮らせる環境をつくりましょう。

(1) ドメスティック・バイオレンス※の防止と被害者への支援

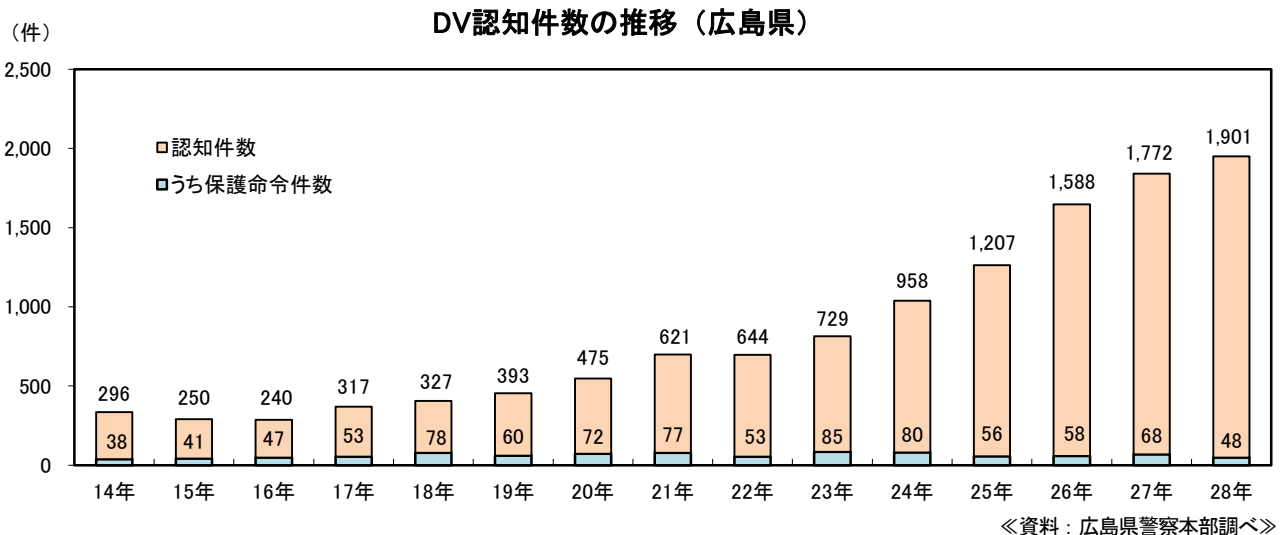
全国の配偶者からの暴力事案の認知状況及び広島県のDV認知件数は、いずれも年々増加しています。



注1) 配偶者からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者の相談等を受理した件数

注2) 法改正を受け、平成16年12月2日施行以降、離婚後に引き続き暴力等を受けた事案について、平成20年1月11日施行以降、生命等に対する脅迫を受けた事案についても計上

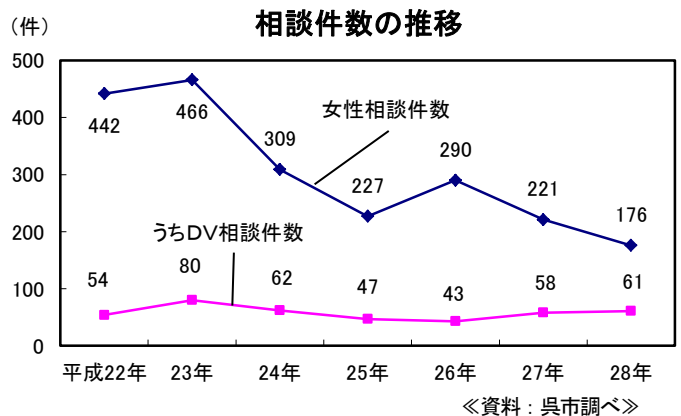
注3) 法改正を受け、平成26年1月3日以降、生活の本拠を共にする交際（婚姻関係における共同生活に類する共同生活を営んでいないものを除く。）をする関係にある相手方からの暴力事案についても計上



(2) 女性相談の状況

呉市の女性相談件数（面接・電話）は、減少傾向にありますが、内容については、年々複雑・多様化しています。

福祉保健部子育て支援課 ☎25-3599
(呉市和庄1丁目2-13 すこやかセンターくれ3階)
 相談は、面接・電話等により受け付けています。
 毎週月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15



※ドメスティック・バイオレンス(DV)：配偶者や恋人など親密な関係にある男女間における暴力で、身体的、精神的、経済的、性的暴力をいう。長い間、家庭の中の問題、個人の問題として見過ごされてきたが、平成13年4月に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(配偶者暴力防止法)」が制定され、社会問題として位置付けられるようになった。

Ⅲ 呉市の男女共同参画施策の実施状況（平成 28 年度の主な取組）

「くれ男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）」の基本理念の普及や男女共同参画の推進に向けた機運の醸成を図るため、次の各事業を行いました。

(1) 呉市男女共同参画週間事業

6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に合わせ、「平成28年度 呉市男女共同参画週間事業」を開催しました。

テーマ「自分を生きる みんなで生きる」	
●講演会及びセミナー	
日時	5月22日（土）10:30～15:00
場所	呉ポートピアパーク 参加者：101人（託児8人）
【講演会】	演題：「ストレスに強く生きるために ～レジリエンスな生き方・育て方～」 講師：宇治木 敏子さん（NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会理事長）
【セミナー】	演題「実践！親のためのレジリエンスレッスン」 講師：飯田 國彦さん，川合 由美子さん（NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会理事）
●講演会及び映画上映会	
日時	6月25日（土）13:00～16:00
場所	広まちづくりセンター 参加者：580人（託児3人）
【講演会】	演題：「夫の炊事で家庭が変わる ～夫婦でつくろう味な生活～」 講師：國本 善平さん（雑談法人おやじ活性化委員会炊事部長）
【映画上映会】	「愛を積む人」（日本語字幕付き）
●男女共同参画パネル展 出展団体：19団体	
	①5月10日（火）～18日（水）呉市役所，②5月20日（金）～31日（火）呉ポートピアパーク ③6月3日（金）～16日（木）安浦まちづくりセンター，④6月18日（土）～30日（木）広市民センター

(2) くれ男女共同参画セミナー

男女共同参画に関して学習することで男女共同参画についての理解を深め、自らの生き方を見つめ直し、いきいきと豊かに生きる機会となるよう、いろいろなテーマでセミナーを実施しました

区分	女性編（全3回）
テーマ	明日をつかむ！チャレンジ応援講座
実施日時	① 10月1日（土）10:00～12:00 ② 10月15日（土）10:00～12:00 ③ 10月15日（土）13:00～15:00
場 所	広まちづくりセンター
内 容 講 師	① 人生で必要なお金の話！～意外と知らない？あなたの働き方と、社会のルール～ 講師：ファイナンシャルプランナー 波多間 純子さん ② 私を知って、未来を拓く！～自分らしく働くための自己分析方法～ 講師：生咲 菜摘子さん（キャリアブルーム代表） ③ 知っておきたい、就職必勝法！～魅力的な履歴書の書き方と、失敗しない面接術～ 講師：生咲 菜摘子さん（キャリアブルーム代表）
参加者	延べ24人（託児延べ12人）

(3) 男女共同参画情報紙「アンサンブル」の発行（8月、2月 各13,000部）

男女共同参画に関する情報紙を企画編集し、発行しました。

号数	テーマ
第30号	男性が介護する
第31号	あなたはどう思いますか？ ～男女共同参画市民アンケート調査結果～

(4) DV防止啓発

①「女性に対する暴力をなくす運動」啓発事業

●講演会

自分や自分の大切な人が、DVの被害者・加害者になってしまったとき、できることについて学ぶため、講演会を開催しました。

事業名	「女性に対する暴力をなくす運動」啓発講演会
実施日時	11月24日（木）14:00～15:30
場所	呉市役所7階会議室
内容	テーマ：「DVを知る ～大切な人を救うためにできること～」 講師：伊田 広行さん (DV加害者プログラム・NOVO運営者/神戸大学・立命館大学非常勤講師)
参加者	53人（託児2人）

●DV防止啓発パネル展

11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間及び11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、DV（配偶者等からの暴力）防止啓発パネル展と児童虐待防止啓発パネル展をいっしょに、市内5カ所で開催しました。

期 間	場 所
11月1日（火）～11月6日（日）	広市民センター
11月8日（火）～11月13日（日）	昭和市场センター
	安浦市民センター
11月15日（水）～11月20日（日）	音戸市民センター
11月18日（金）～11月24日（木）	呉市役所



②「二次加害」防止研修

DV被害者支援に対する二次加害を防止できるよう、職員や支援者の資質の向上を目的として、研修会を開催しました。

事業名	DV二次加害防止研修
実施日時	10月6日（木）14:00～16:00
場所	呉市役所7階会議室
内容	テーマ：「犯罪被害者への理解と支援」 講師：児玉 憲一さん（比治山大学社会臨床心理学科教授）
参加者	37人

③デートDV啓発講師派遣事業

若年層の、交際相手からのDV（デートDV）への理解を深め、予防するため、高等学校等が行う学習活動に、講師を派遣しました。

派遣先	① 広島県立呉商業高等学校 ② 広島県立呉工業高等学校(定時制) ③ 広島県立呉昭和高等学校
日時	① 5月12日（木）14:35～15:25 ② 10月17日（月）20:10～21:00 ③ 12月14日（水）14:30～15:20
派遣講師	① 横山美栄子さん（広島大学ハラスメント相談室長） ② 森川身江子さん（看護師） ③ 横山美栄子さん（広島大学ハラスメント相談室長）
学習者	① 全学年 474人 ② 定時制課程1～4年・教員 42人 ③ 2年生 77人

⑤DV相談先ミニガイドブックの作成・設置

DVの相談先を市民のみなさんに知っていただくため、相談先ミニガイドブックを作成・配布しています。このガイドブックは、広く市民にも設置の協力をお願いしており、市役所等の公共施設だけでなく、ホテル、ホームセンター、病院、大学、事業所等でご協力いただいています。また、市民も事業所等への設置呼びかけ等、DV防止に向けた、市民・事業所・市の協働した取組となっています。

(5) 呉市男女共同参画推進活動支援事業

男女共同参画社会の実現に向けて、自主的かつ主体的に事業を企画し、実施する団体に、事業経費の一部を助成する「呉市男女共同参画推進活動支援事業」を実施しました。

1	団体名	C l e f	補助金額	28,799 円
	事業名	映画「うまれる」の自主上映会		
	実施日	3月20日（月）10:30～16:00		
	場 所	広まちづくりセンター	参加者	163 人
	内 容	映画「うまれる」上映		
2	団体名	ひまわり	補助金額	50,000 円
	事業名	みんなニコニコ ～いのちを語ろう～		
	実施日	3月25日（土）10:00～14:00		
	場 所	広まちづくりセンター	参加者	50 人
	内 容	講演会、グループ討議、実習、全体会		

(6) 男女共同参画に関する企業の取組状況調査

市内事業所の男女共同参画への取組や意識等の実態を把握し、今後の施策に反映させていくために実施しました。

【調査項目】

- I 女性の雇用管理状況、II 育児と介護の両立支援制度、
- III 事業所の男女共同参画を進めるにあたっての要望

調査区域	呉市全域
調査対象	市内に事業所のある概ね従業員30人以上の企業 呉市人権尊重企業連絡協議会に加入している企業
標本数	328事業所
調査方法	郵送による配布・FAX回答
調査期間	7月18日（月）～8月19日（金）
回収率	42.8%

(7) 男女共同参画市民アンケート調査（5年毎に実施）

男女共同参画の推進や、女性の職業生活における活躍に対する市民の意識やニーズを調査し、分析するために実施しました。

【調査項目】

- I 家庭生活における男女共同参画について
- II 地域活動、市民活動における男女共同参画について
- III 仕事と家庭生活、地域活動・市民活動の両立について
- IV 子育てについて
- V 男女の人権の尊重について
- VI 男女共同参画の取り組みについて

調査区域	呉市全域
調査対象	市内に居住する選挙人名簿から層化無作為抽出した満20歳以上の男女
標本数	2,500人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	6月24日（金）～7月25日（月）
回収率	50.6%

IV 「くれ男女共同参画基本計画（第3次）」の指標と現況値（平成28年度）・目標値

推進パターンA：先行型で推進

目標	方針	施策	指標	設定時 (H23)	現況値 (H28)	中間のめやす (H29)	目標値 (H34)
I	1	1	「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定化する考え方に反対する人の割合	男性 52.9% 女性 62.2%	男性 57.8% 女性 63.4%	男性 70% 女性 75%	いずれも 80%
II	1	1	女性委員のいない審議会数	6 (平成24年)	5 (平成29年)	2	0
III	1	1	男性の育児休業取得率（市職員）	4.2%	0%*	12%	15%
	1	1	市職員の年次有給休暇取得日数	9.06日	8.23日	13日	15日
IV	1	2	配偶者や恋人間における「手でぶつ・殴る」「殴るふりをして脅す」の各行為について、暴力だと思ふ人の割合	手でぶつ・殴る 73.5% 殴るふりをして 脅す 59.2%	手でぶつ・殴る 79.0% 殴るふりをして 脅す 63.3%	手でぶつ・殴る 90% 殴るふりをして 脅す 80%	手でぶつ・殴る 100% 殴るふりをして 脅す 100%
	1	2	中学校・高等学校等におけるデートDV防止に関する取組を行う割合（高等専門学校、定時制を含む）	2.2% (1校)	81.8% (36校) ※道徳教育の一環として実施した ものも含む。	86.4% (38校)	100% (44校)

*市職員の育児参加休暇（男性職員が配偶者の出産の付き添い及びその後の育児等を行う場合の休暇）取得率 76.5%（H28）

推進パターンB：積み上げ型で推進

目標	方針	施策	指標	設定時 (H23)	現況値 (H28)	中間のめやす (H29)	目標値 (H34)
II	1	1	審議会等委員に占める女性の割合	23.1% (平成24年)	22.5% (平成29年)	30%	35%
III	1	1	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）という言葉を知っている割合	市民 29.7% 企業 91.3%	市民 42.4% 企業 98.5%	市民 45% 企業 95%	市民 65% 企業 100%
	1	2	家庭生活で「介護・看護」を主に妻だけが行う人の割合	56.9%	55.3%	40%	20%
	1	3	地域活動や市民活動に参加している男性の割合	25.9%	31.7%	38%	50%

推進パターンC：後追い型で推進

目標	方針	施策	指標	設定時 (H23)	現況値 (H28)	中間のめやす (H29)	目標値 (H34)
I	1	1	「社会全体」で男女の地位が平等だと思ふ人の割合	男性 23.3% 女性 10%	男性 23.1% 女性 10.9%	男性 35% 女性 20%	いずれも 50%
II	1	1	市の管理職に占める女性職員の割合	2.7% (平成25年)	2.3% (平成29年)	5%	10%
	1	2	女性の管理職がいる事業所の割合	42.1%	40.0%	50%	70%
	2	1	女性の単位自治会長の割合	6.9% (平成24年)	7.8% (平成29年)	10%	15%
III	1	2	家庭生活で「育児（乳幼児の世話）」を主に妻だけが行う人の割合	73%	78.7%	60%	30%
	2	2	広島県仕事と家庭の両立支援企業登録数（市内企業）	35社	92社	42社	70社
	2	2	女性の労働力率（30～34歳）	64.8%	—	70%	80%
	2	2	男性の育児休業取得率（市内企業）	0.6%	1.0%	4%	13%

くれ男女共同参画推進条例

平成 13 年 12 月 21 日
条例第 26 号

目次

前文

第 1 章 総則（第 1 条—第 7 条）

第 2 章 基本的施策（第 8 条—第 16 条）

第 3 章 呉市男女共同参画推進審議会（第 17 条・第 18 条）

付 則

呉市は、美しい瀬戸内海と灰ヶ峰、山々が織り成す風光明媚な自然に恵まれ、「ものづくり」のまちとして発展を遂げてきた。

21 世紀を迎え、社会経済活動の成熟化や少子・高齢化、高度情報化等が急速に変化する中で、ゆとりと豊かさが実感でき、個性と輝きのある創造性豊かな都市として更に発展を続け、また、人が人として大切にされ互いに支え合う、やさしさあふれる都市（ハーティポリス）を創造していくには、男女が互いにその人権を尊重し責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現が、緊要な課題である。

呉市では、男女共同参画を推進するために様々な取組を計画的に展開してきたところではあるが、性別による固定的役割分担意識やそれに基づく社会慣行は依然として根強く、女性の労働力率も出産・子育て期に大きく低下する傾向があり、家庭生活と他の活動との両立が必ずしも十分でない等、真の男女平等を達成するには、なお一層の努力が必要である。

こうした現状を踏まえ、更に豊かで活力ある呉市を創造し、未来に引き継いでいくためには、地域社会を構成する市、市民及び事業者が自らの役割や責任を自覚し、自らの意思と相互の協力により、積極的に男女共同参画に関する施策を推進しなければならない。

私たちは、市、市民及び事業者の協働によって、男女共同参画社会の実現を図るため、この条例を制定する。

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この条例は、男女共同参画の推進に関し必要な事項を定めるとともに、本市の男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市、市民及び事業者が積極的に役割を担い合う協働によって豊かで活力ある男女共同参画社会の実現を図ることを目的とする。

（定義）

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- （1）男女共同参画 男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいう。
- （2）積極的改善措置 前号に規定する機会に係る男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいう。
- （3）セクシュアル・ハラスメント 性的な言動により、その言動を受けた個人の生活の環境を害すること又は性的な言動を受けた個人の対応により当該個人に不利益を与えることをいう。

（基本理念）

第 3 条 男女共同参画の推進は、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、男女の個人としての尊厳が重んじられること、男女が直接又は間接に性別による差別的な扱いを受けないこと、男女が個人として能力を発揮する機会が確保されることその他の男女の人権が尊重されることを旨として行われなければならない。

2 男女共同参画の推進に当たっては、社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会におけるあらゆる活動の自由な選択を妨げることのないよう配慮されなければならない。

3 男女共同参画の推進は、男女が社会の対等な構成員として、市その他の団体における政策又は方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されることを旨として行われなければならない。

4 男女共同参画の推進は、男女が相互の協力と社会の支援の下に、子の養育、家族の介護等家庭生活における活動と職業生活その他の活動とを両立して行うことができるようにすることを旨として行われなければならない。

5 男女共同参画の推進に当たっては、男女がお互いの理解の下で、生涯にわたる妊娠、出産その他の性と生殖に関する事項に関し、自らの決定が尊重され健康な生活を営むことについて配慮されなければならない。

6 男女共同参画の推進は、当該取組が国際社会における取組と密接な関係を有していることに留意し、協調して行われなければならない。

（性別による権利侵害の禁止）

第 4 条 だれであっても、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、性別を理由とする権利侵害や差別的な取扱いを行ってはならない。

2 だれであっても、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、セクシュアル・ハラスメントその他の人権を侵害する性的な言動や性暴力を行ってはならない。

3 だれであっても、配偶者等に身体的又は精神的な苦痛を与える暴力的行為を行ってはならない。

（市の役割）

第 5 条 市は、男女共同参画社会の形成に向けての責任を自覚し、実施するあらゆる施策に男女共同参画の視点を取り入れ、関係機関と連携し、男女共同参画に関する施策（積極的改善措置を含む。以下同じ。）を総合的かつ計画的に実施するものとする。

2 市は、男女共同参画の推進に当たり、市民及び事業者と協働して取り組むものとする。

3 市は、男女共同参画に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置その他の措置を講じるように努めるものとする。

（市民の役割）

第 6 条 市民は、男女の性別による差別的取扱いを排除するとともに、固定的な役割分担意識に基づく制度や慣行を改善するよう努めるものとする。

2 市民は、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、男女共同参画の推進に寄与するように積極的に取り組むものとする。

（事業者の役割）

第 7 条 事業者は、男女が職場における活動に对等に参画する機会の確保に努めるとともに、職業生活における活動と育児や介護等の家庭生活における活動その他の活動とを両立して行うことができる職場環境を整備するよう努めるものとする。

2 事業者は、その事業活動に関し、男女共同参画の推進に寄与するように積極的に取り組むものとする。

3 事業者は、市が実施する男女共同参画に関する施策に協力するものとする。

第 2 章 基本的施策

（基本計画）

第 8 条 市長は、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、基本計画を策定しなければならないものとする。

2 基本計画には、次に掲げる事項を定めるものとする。

- （1）男女共同参画社会の形成の促進に関して総合的かつ長期的に講じるべき施策の基本的事項
- （2）前号に掲げるもののほか、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 市長は、基本計画の策定及び変更について、市民及び事業者との協働により行い、当該策定及び変更をしたときは、速やかに公表するものとする。

4 市長は、基本計画の策定及び変更に当たっては、あらかじめ、呉市男女共同参画推進審議会の意見を聴くものとする。

（年次報告）

第 9 条 市長は、基本計画に基づいた施策の総合的な推進を図るため、男女共同参画に関する施策の実施状況を調査分析した報告書を作成し、これを公表するものとする。

（市の施策・方針決定過程への女性の参画推進）

第 10 条 市は、率先垂範して、施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、次に掲げる事項を行うものとする。

- （1）市の執行機関である委員会の委員若しくは委員又は附属機関である審議会等の委員その他の構成員の選出に際して、女性の登用に努めること。
- （2）市の行政機関における男女共同参画を図るため、女性職員の積極的な職域の拡大、登用及び能力開発に努めること。
- （3）職員が職業生活と家庭生活その他の活動とを両立することができるよう支援するため、育児休業、介護休暇等の制度について、性別にかかわらず共に活用できる環境づくりに努めること。

（男女共同参画に関する教育、学習の振興）

第 11 条 市は、市民が男女共同参画に対する関心と理解を深めることができるようにするため、家庭教育、学校教育及び社会教育のあらゆる分野の教育において、男女共同参画に関する教育、学習の振興について必要な施策を行うものとする。

（家庭生活と職業生活その他の活動の両立支援）

第 12 条 市は、男女が共に家庭生活における活動と職業生活その他の活動とを両立することができるよう、子育てや介護等の支援を行うものとする。

（情報収集と調査研究）

第 13 条 市は、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、情報収集及び調査研究を行うものとする。

（市民の理解を深めるための措置）

第 14 条 市は、市民及び事業者の男女共同参画の推進についての理解を深めるため、広報啓発活動を行うものとする。

（男女共同参画の推進に向けた支援）

第 15 条 市は、市民及び事業者が行う男女共同参画への取組（積極的改善措置を含む。）が促進されるよう、必要な情報提供その他の協力を行うものとする。

（苦情又は相談への対応）

第 16 条 市は、男女共同参画の推進を阻害する問題についての苦情又は相談を受けた場合は、関係機関との連携を図りながら適切に対応するものとする。

第 3 章 呉市男女共同参画推進審議会

（審議会の設置）

第 17 条 市は、男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を調査審議するため、呉市男女共同参画推進審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

（審議会の組織、運営）

第 18 条 審議会は、15 名以内の委員をもって組織し、男女のいずれか一方の委員の数は、委員総数の 10 分の 4 未満であってはならないものとする。

2 委員は、市民及び学識者等のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員の再任は、これを妨げないものとする。

5 前各別に規定するもののほか、審議会の組織、運営について必要な事項は、市長が別に定めるものとする。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

呉市男女共同参画都市宣言

呉市は、瀬戸内の美しい自然と、先人達が築いてきた「ものづくり」のまちとしての歴史と文化に囲まれた魅力あふれるまちです。

21世紀を迎え、少子・高齢化等、社会が大きく変化するなか、人が人として大切にされ、やさしさあふれるまちとして更に発展していくためには、家庭に、職場に、地域に、男女が互いにその人権を尊重し、個性と能力を十分発揮し、責任も分かちあえる社会を実現していかなければなりません。

呉市は、市制100周年を迎え、新たな100年に向けての第一歩を踏み出す今、市・市民・事業者が協働して男女共同参画のまちづくりに取り組み、「誰もが住みやすく住んでみたい呉市」を目指して「男女共同参画都市」を宣言します。

平成15年1月28日

呉市長

平成29（2017）年版
呉市の男女共同参画に関する年次報告
（ダイジェスト版）

平成29年12月発行

編集・発行 呉市市民部人権センター
〒737-8501 呉市中央4丁目1番6号
電話 (0823)25-3476
FAX (0823)26-6267
E-mail zinken@city.kure.lg.jp